

令和5年度アクション・プラン【神戸県民センター】

I 目指す姿

神戸市の人口は、平成23年の約154万5千人をピークに減少傾向にある。本格的な人口減少・少子高齢化が進行していく中、定住人口減少の歯止めや交流人口の拡大等を通じた地域の元気づくりに向けて、自然や文化、歴史など神戸の多彩な魅力や資源を活用した活性化の取組を積極的に進めるとともに、自然災害への備えや地域活動の支援などの安全・安心で持続的な基盤づくりの一層の推進が不可欠である。

このため、①神戸の魅力を活かした賑わいづくり、②農都・神戸の推進、③安全・安心で持続的な地域づくり等を柱とした取組を積極的に展開し、賑わいがあり、住みたい・住み続けたいまち、「みんなの希望にフィットするまち・神戸」の実現を図る。

神戸市人口の推移（各年10月1日現在、兵庫県統計課調べ）（単位：人）

H23	H24	H25	H26	H27	H28
1,544,966	1,543,071	1,541,168	1,539,755	1,537,272	1,537,471
H29	H30	R1	R2	R3	R4
1,535,561	1,532,517	1,529,756	1,525,152	1,517,073	1,510,171

神戸地域観光消費額の推移（兵庫県観光客動態調査）（単位：億円）

H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
2,842	2,949	3,317	3,461	3,576
H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
3,543	3,816	3,617	3,815	1,546

【目標】

数値欄の上段（網掛）は目標値、下段は実績値

K P I	目標設定の時点①	R2	R3	R4	R5	R6
住んでいる地域にこれからも住み続けたい人の割合(%) ※	80.9 (H27～R1 平均)	81	82	83	前年度を上回る	
	75.6	76.7				
住んでいる地域に誇りや愛着を感じる人の割合(%) ※	68.6 (H27～R1 平均)	71	72	73	前年度を上回る	
	70.5	67.0				
神戸市人口(千人)	1,530(R1)	1,522	1,521	1,520	1,519	1,500
	1,530(R1)	1,525	1,517			
神戸地域観光消費額(億円)	3,815(R1)	—	—	—	2,838	3,300
	3,815(R1)	1,546				
農業産出額(億円)	143.7 (H25～H29 平均)	160	160	160	160	160
	143.7 (H25～H29 平均)	127				

※出典：「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査

II 取組の方向性

次の1～4の取組により、地域が元気になるまちづくりを進め、コロナ禍で傷んだ地域活力・賑わいの再生を図りつつ、交流人口の拡大と定住人口減少の歯止めを図る。

1 神戸の魅力を活かした賑わいづくり

豊かな歴史と文化、美しい自然など神戸が持つ魅力を活かし、環境の保全をはじめとするSDGsの達成も踏まえた新たな価値の創出を推進するとともに、地域の住民や団体、企業等との連携による交流人口拡大に向けた取組を通じて賑わいづくりを進める。

2 活力ある神戸の産業・しごとづくり

商店街活性化への支援や工業技術センター等との連携によるものづくり施策の普及、職業訓練に対する支援などを実施し、地域における産業振興と雇用対策を推進する。

3 農都・神戸の推進

都市と「農」が隣接する強みを活かし、神戸産の農作物や兵庫県認証食品の市民への認知度をさらに高めるとともに、家畜堆肥の効率的・効果的な地域内循環を図るなど、地産地消と資源循環型農業の展開を進める。また、農業におけるDXを推進し、先端技術を活用した生産の効率化や農産物の高品質化、担い手の育成を図る。

4 安全・安心で持続的な地域づくり

近年頻発している集中豪雨など自然災害への備えとして、山地防災・土砂災害対策や身近な危険の周知を図る取組を進めるとともに、鳥獣被害対策に取り組むなど、安全・安心な地域づくりを進める。また、コロナ禍で希薄になった地域活動の支援や地域と連携したまちの活性化等を通じた持続的な地域づくりを推進する。

III 具体的な取組（主なもの）

1 神戸の魅力を活かした賑わいづくり

(1) アートとふれあうまちづくり

① 神戸ジャズ100周年記念事業の実施《新規・継続 12,410千円》

日本初のプロバンドが神戸でジャズを演奏してから100周年を迎えることを記念し、市内全域においてジャズイベントを開催するなど、「ジャズの街神戸」をさらにPRするとともににぎわいを創出

【主な事業】

- ・「KOBE JAZZ Academy “STUDENTS LIVE”」の開催
高校生がプロとセッション演奏する機会を持つことで刺激を受け、これからの神戸ジャズを牽引する次世代の育成につながるライブを開催
- ・市内全域でのジャズコンサートの展開
神戸市と協働し、兵庫デスティネーションキャンペーン期間(7～9月)を中心に市内全区でジャズイベントを実施

② ミュージアムロード魅力発信事業の展開《新規 1,000 千円》

県立美術館（HAT 神戸）を核とするミュージアムロード周辺のパブリックアートをはじめ、六甲山と海に囲まれた観光資源を生かし、地域のにぎわいを創出

【主な事業】

- ・「ミュージアムロードの魅力体感！めぐるアート」（仮）の開催
アート作品を巡るクイズラリー、アート作品の作者による作品解説や若い世代が気軽にアートを楽しめるワークショップを実施

③ 新開地・喜楽館を核とした地域の賑わい創出《継続 2,600 千円》

かつて神戸一の繁華街であった新開地の魅力を発信し、喜楽館を核とした新開地周辺地域の賑わいづくりを実施

【主な事業】

- ・親子落語鑑賞会の開催
喜楽館を支える幅広いファンを育成するため、県内の小中学生の親子を演芸場昼席に招待
- ・昼席魅力向上プロジェクトの実施
新開地とその周辺地域の来街者増加に繋げるため、ライトな落語ファン層の常連化に向けた耳目を惹く催し物を開催

(2) 自然を生かした活力づくり

① SDGs フィールド六甲山体験イベントの開催《新規 1,950 千円》

六甲山全体の活性化につなげるとともに、2025 年大阪・関西万博に向けて六甲山の魅力を発信

【主な事業】

- ・六甲山フォトログイニングの開催
「自然」と「観光」を掛け合わせたスポーツ「フォトログイニング」を六甲山上で開催
- ・六甲山みどころツアーの実施
登山初心者等を対象に、六甲山に点在する茶屋の主人や関係者などによる講話及び施設見学を実施

② 六甲山ビジターセンターの機能強化等《継続 10,500 千円》

六甲山の利活用を積極的に推進するため、トレッキングやハイカー向けの情報提供やイベント関連の発信を充実するとともに、広い世代を対象とした学習機会を設け、六甲山のさらなる賑わいを創出

【主な事業】

- ・新たな環境学習や六甲山の自然に親しむイベントの実施
- ・インフォメーション機能の充実
パネル、標本、六甲山自然体験シアター等による情報発信に加え、デジタルサイネージ、ライブカメラや SNS による眺望及び草花など六甲山の魅力をタイムリーに発信
- ・六甲ミーツ・アート作品の設置

(3) 歴史遺産を生かした賑わいづくり

① 神戸の魅力再発見《継続 700 千円》

地域団体等による県立兵庫津ミュージアムを活用した魅力発信や賑わい創出につながる取組を支援するとともに、神戸ゆかりの日本遺産等を楽しく学ぶ講座を開催

② 近代遺産などを活用した地域の魅力アップ《新規・継続 6,270 千円》

国登録有形文化財・近代土木遺産「湊川隧道」や、世界かんがい施設遺産「淡山疏水」を活用し、地元団体とも連携して、地域の魅力アップに向けた取組を一層推進

【主な事業】

- ・湊川隧道の定期一般公開（毎月第3土曜日）、「土木の日」通り抜けイベントの実施
- ・湊川隧道を次代へ引き継いでいくためのボランティアガイド養成講座の開催
- ・未来へ繋ぐ『こうべ水の恵み』～淡山疏水の偉業を伝える～の実施
次世代を担う小中学生が淡山疏水関連施設を巡り、学習会や学校授業を併せて行うことで、農業水利施設や地域農業への関心を高める。

2 活力ある神戸の産業・しごとづくり

(1) 地域産業の振興

① 商店街活性化への支援

商店街ファンづくり応援事業、商店街地域コミュニティ拠点づくり事業、商店街買い物アシスト事業を通じて、商店街活性化への支援を展開

② 県立工業技術センター等との連携によるものづくり施策の普及

中小の製造業者の技術的課題解決に向け、工業技術センター等との連携により、具体的解決事例や活用可能な施策などの情報提供を実施

(2) 雇用対策の推進

① 職業訓練に対する支援

職業訓練コースの認定を行うとともに、中小企業等が実施する認定職業訓練の運営を支援

② 商工会議所等と連携した就活支援事業の実施

神戸商工会議所等と連携し「兵庫県合同就職面接会」等を開催

③ ワーク・ライフ・バランスセミナーの開催

兵庫県経営者協会等と連携し、セミナーを開催

3 農都・神戸の推進

(1) アグリDX神戸モデルの推進

AI や ICT などの先端技術を活用した農業「アグリ DX」の普及を進め、生産の効率化や農産物の高品質化、担い手の育成を図る。

① ICT 技術を活用した神戸産「山田錦」の品質向上《継続 150 千円》

モデルほ場に水位・水温・気象センサーを設置し、栽培管理で重要なほ場の水管理や気象のデータを活用することで、品質の高い「山田錦」栽培を推進

② ドローンの活用による集落営農組織の強化《拡充 500 千円》

集落営農組織におけるドローンによる省力的な適期防除を推進し、農産物の品質と所得向上を目指す

③ ICT 技術導入による果樹産地強化《継続 400 千円》

自動草刈りロボットによる雑草管理の省力化技術モデルを確立し、生産者の負担軽減を図り、果樹産地の活力を強化

(2) 肥料の地産地消「神戸コンポスト」開発プロジェクト《新規 1,500 千円》

家畜堆肥など神戸の豊富な地域資源を活用した肥料の開発や供給体制を構築することにより、安定的で持続的な肥料の確保と化学肥料の使用低減を進め、資源循環型農業の確立を図る。

【主な事業】

- ・地域内資源フル活用による資源循環型農業モデルの確立
- ・緑肥等活用による化学肥料使用低減の推進

(3) 神戸産の県認証食品認知度向上

① 認証食品認知度向上・生産力強化等《継続 1,250 千円》

商品PRや魅力発信、認知度向上のための商品包装材等の作成及び販路拡大のための商談会等への参加、インターネット通販等への出展等に対して支援

また、栽培技術研修会等開催、講習会参加、GAPの取得及び新たな栽培技術等導入、安定生産・品質向上等に必要な資材等に対して支援

② 認証食品定期販売の実施《継続 1,000 千円》

新長田合同庁舎1階ホール等において、毎月1回程度、来庁者等に対して認証食品の販売を実施（しんながた新鮮市）

4 安心と持続の地域づくり

(1) 安全・安心な地域づくり

① 地域の安全・安心の確保《継続 2,750 千円》

まちづくり防犯グループに地域安全まちづくり推進員を設置するとともに、地域団体による防犯活動を支援するなど、地域安全まちづくり活動を推進

【主な事業】

・神戸地域安全応援事業

身近な生活圏で発生する犯罪を未然に防ぐため、地域団体による防犯講習会開催や安全マップの作成、パトロール活動等の防犯活動を支援
(補助率：定額、補助上限：150千円)

② **鳥獣被害対策の推進**《継続 4,400千円》

イノシシによる市街地での生活環境被害等に対応するため、防護、捕獲、普及啓発を柱とする総合的な対策を実施

【主な事業】

- ・人身への危害等の緊急事態に対処するイノシシ緊急対策協力員の配備
- ・市街地への侵入を防ぐため山林内に設置した防護柵の点検・補修協力員を配置
- ・六甲山系のイノシシ生息密度を効果的に減少させるための出産期(5～6月)の捕獲や被害の大きい水稻生育期での積極的な捕獲を推進

③ **自然災害に備える取組**《継続 5,100千円》

河川やため池、六甲山での自然災害を未然に防止するため、危険箇所の整備事業を行うとともに、様々な啓発活動を行い防災意識の醸成を推進

(2) **対話と協働による地域づくり**

① **地域ビジョンの推進**《継続 1,300千円》

神戸地域で活動する団体が行う地域資源や地域の特性等を活用した取組を支援することにより、神戸地域ビジョン2050の実現を図る。

② **県民との対話促進**《継続 1,800千円》

知事と神戸市民が直接対話することにより県政への参画を促進する「こうべ県政ミーティング」や、各区地域団体リーダーとの意見交換会「県政懇話会」の開催など、地域住民との対話と協働を一層進めることにより、多種多様な地域課題の解決に向けた取組を支援

③ **県民との協働促進**《継続 2,700千円》

地域団体が実施する交流活動などの取組に対して助成を行う「広域的地域活動推進事業」を通じて、コミュニティの強化や地域の活性化を推進

④ **地域と連携した元気づくり**《継続 36,605千円》

行政と地域の連携による新長田の賑わいづくりや、地域イベントへの参画等を通じて地域と連携した賑わいづくりを推進

⑤ **外国にルーツを持つ多国籍住民による異文化交流会の開催**《新規 360千円》

神戸市9区の中で外国人比率が最も高い長田区において、新長田近隣に居住する外国からの移住者や留学生と協働して、異なる文化に対し理解を深めるイベントを開催

⑥ **次代を担う子ども・青少年の育成**《継続 552千円》

地域における子育て支援活動を実施するとともに、地域・家庭の伝統行事等の普及および青少年の健全な育成に向けた愛護活動を推進